

大河内地区地域おこし協力隊：酒井友規

初めまして、2025年4月より地域おこし協力隊として静岡市葵区の中山間地にある大河内地区で活動している酒井友規（さかいともき）です。大河内にきて約半年、自然に囲まれ伸び伸びと活動しています！この度、私が経験、活動してきた一部を報告させていただきます！

活動内容1

空き家調査



大河内地区の空き家対策

大河内には、およそ100件近い空き家が存在しております。長年放置された空き家は老朽化が進み、倒壊や野生動物の侵入、さらには災害・犯罪などの原因になりかねません。そこで、大河内移住促進委員会を設置し、各地区の代表者、中山間地振興課のスタッフと協力しながら空き家の現地調査を行い、現状の把握と今後の利活用に向けた基盤づくりに取り組んでいます。

活動内容3

地域交流



イベント活動

大河内地区では、人口減少と高齢化が進み、過疎化が深刻な課題となっています。こうした現状の中で、少しでも多くの人に大河内の魅力を知ってもらい、訪れてもらいたいと思いながら、マルシェや地域イベントなどを開催していきたいと思っています。

活動内容2

わさび育苗生産活動



わさびの育苗と生産

大河内地区有東木は、わさび発祥の地といわれ、江戸時代から続くわさび農家が今もかす多く残っています。しかし現在、わさび農家や苗の育成を担う後継者の不足により、生産量は年々減少しています。こうした厳しい現状の中でも、わさびの伝統と文化を受け継ぐために、日々努力しています。

活動内容4

伝統と文化



伝統の継承

大河内地区有東木には無形文化遺産である神楽が今もなお受け継がれています。しかし、人口減少や高齢化により継承が危ぶまれています。こうした伝統や文化を守るために、地域の有志や保存会を中心に若い世代への高希有活動、子どもたちや地域外の人々にも神楽の魅力を知ってもらえるよう、体験会や映像記録などの取り組みも進めています。